

システム変更等のお知らせ

(2021.7.1 - 2021.8.31 変更)

1. ハードウェア

- 1.1 Wisteria/BDEC-01 スーパーコンピュータシステム … なし
- 1.2 Oakbridge-CX スーパーコンピュータシステム … なし
- 1.3 Oakforest-PACS スーパーコンピュータシステム … なし
- 1.4 Reedbush スーパーコンピュータシステム (Reedbush-H/L) … なし

2. ソフトウェア

2.1 Red Hat Enterprise Linux 8 (Wisteria/BDEC-01)

➤ Wisteria-O (Odyssey)

GROMACS	2021.2	(2021.07.02)
GROMACS (倍精度)	2021.2	(2021.07.29)
GCC Toolset	10	(2021.07.29)

➤ Wisteria-A (Aquarius)

FTW	3.3.9	(2021.07.02)
HDF5	1.12.0	(2021.07.02)
NetCDF	4.8.0	(2021.07.02)
GNU Scientific Library	2.6	(2021.07.02)
LAMMPS (GPU パッケージ)	29Oct2020	(2021.07.29)
GCC Toolset	10	(2021.07.29)
Red Hat Enterprise Linux (OS)	8.3	(2021.08.24)

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのお知らせ、またはドキュメント閲覧より利用手引書をご覧ください。

2.2 Red Hat Enterprise Linux 7, CentOS 7 (Oakbridge-CX)

gfarm	2.7.19	(2021.07.30)
gfarm2fs	1.2.15	(2021.07.30)

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのお知らせ、またはドキュメント閲覧より利用手引書をご覧ください。

2.3 Red Hat Enterprise Linux 7, CentOS 7 (Oakforest-PACS)

gfarm	2.7.19	(2021.07.28)
gfarm2fs	1.2.15	(2021.07.28)

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのお知らせ、またはドキュメント閲覧より利用手引書をご覧ください。

2.4 Red Hat Enterprise Linux 7 (Reedbush-H/L)

chainer	7.2.0	(2021.07.30)
---------	-------	--------------

インストールを実施しました。利用方法については、利用支援ポータルのドキュメント閲覧より利用手引書または各資料をご覧ください。

3. その他

3.1 Oakbridge-CX における pjsub コマンドの `--at` オプションの有効化について

- 無効となっていた pjsub コマンドの `--at` オプションを有効に変更しました。(2021.07.30)

3.2 Oakforest-PACS における McKernel 対応について

- McKernel のジョブのノード数上限を 1024 → 2048 ノードへ変更しました。(2021.08.04)

3.3 Wisteria/BDEC-01(Odyssey/Aquarius)における Environment Modules の設定変更について

- システム名(odyssey/aquarius)を選択(module load <システム名>)すると、デフォルト設定をロードするように Environment Modules 構成を変更しました。デフォルトで設定されるコンパイラは以下となります。(2021.07.02)

Odyssey : 富士通コンパイラと富士通 MPI を設定(ver 1.2.31)

Aquarius : GCC ver 8.3.1 を設定

- 計算ノードでのみ利用可能なパッケージ・ライブラリについて、ログインノードで module help を表示できるように設定しました。(2021.07.02)
- バッチジョブ・インタラクティブジョブを実行した場合、module load <システム名> を自動実行するように設定しました。(2021.07.30)

(注: Aquarius をご利用の場合)

本変更に伴い、Aquarius でバッチジョブ・インタラクティブジョブを実行した場合、デフォルトで設定されるコンパイラが GCC となります。Intel 開発環境をご利用の場合は、module purge を実行後に Intel 開発環境をロードする必要がありますのでご注意ください。

ロードモジュールに関する詳細は Wisteria/BDEC-01 システム利用手引書をご覧ください。

利用手引書は利用支援ポータル (<https://wisteria-www.cc.u-tokyo.ac.jp/>) の「ドキュメント閲覧」より入手することが可能です。

「ドキュメント閲覧」

→ 「Wisteria/BDEC-01 利用手引書」

→ 「Wisteria/BDEC-01 システム利用手引書」

→ 4.1. 環境設定

3.4 Wisteria/BDEC-01 スーパーコンピュータシステムの運用について

Wisteria/BDEC-01 スーパーコンピュータシステムは 2021 年 8 月 2 日 10:00 より正式運用を開始しました。本誌関連記事「Wisteria/BDEC-01 スーパーコンピュータシステム正式運用に関するお知らせ (再掲)」、または、当センター Web ページ(<https://www.cc.u-tokyo.ac.jp/supercomputer/wisteria/service/>)をご覧ください。

3.5 Wisteria/BDEC-01(Odyssey) regular-o キュー及び priority-o キューにおけるデフォルトのジョブ割当方法の変更について (2021.08.26)

Wisteria/BDEC-01 Odyssey の regular-o キューと priority-o キューにつきましては、正式運用開始後、デフォルトのジョブ割当方法として、離散割り当てモード(隣接しないノードを割り当てる場合がある)が設定されていました。8/26 のサービス再開後より、regular-o キュー及び priority-o キューのデフォルトのジョブ割当方法についてメッシュモード(隣接するノードを単位としてジョブを割り当てる)に変更しました。(その他のキューについては、引き続き離散割り当てモードがデフォルトとなります)

regular-o キュー及び priority-o キューにおきまして、8/26 以降、離散割り当てモードでジョブを実行されたい場合は、pjsub コマンドの `-L` オプションに「`node=<shape>:noncont`」と「`:noncont`」を加える

必要がありますのでご注意ください。オプションの詳細は、Wisteria/BDEC-01 システム利用手引書をご覧ください。

- 「ドキュメント閲覧」
- 「Wisteria/BDEC-01 利用手引書」
- 「Wisteria/BDEC-01 システム利用手引書」
- 5.3.2. ジョブ資源オプション
(参考) 5.4.5.5. 複数ノード MPI 並列ジョブ用スクリプト
- 「製品マニュアル」
- 「FUJITSU Software Technical Computing Suite」
- 「ジョブ運用ソフトウェア エンドユーザ向けガイド」
- 1.6.3 ノード単位での割り当て

3.6 Reedbush-H/L サービス終了について

Reedbush-H/L スーパーコンピュータシステムは2021年11月末をもってシステムを停止し、すべてのサービスを終了致します。詳細について決まり次第 Web ページ、メール、スーパーコンピューティングニュースにて順次ご連絡致します。

Reedbush-H/L サービス終了にあたっては以下の点にご注意ください。

- サービス終了後のスーパーコンピュータのご利用につきましては Wisteria/BDEC-01、Oakbridge-CX をご検討ください。
- 一般利用にて Reedbush-H/L をご利用の方は「トークン移行」を行うことが可能です。Wisteria/BDEC-01、Oakbridge-CX への移行をご検討の利用者様につきましては「トークン移行」も併せてご参考ください。「トークン移行」についての詳細は Web ページ(https://www.cc.u-tokyo.ac.jp/guide/application/transfer_token.php)をご参照ください。